

なでしこ4強

女子W杯準々決勝 オーストラリアに1-0



発行所
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271

Copyright (c) 2015
Yamagata Shimbun

2015年
6月28日
〈日曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。



〈日本―オーストラリア〉後半、ゴールを決め喜ぶ
岩渕（中央）
＝エドモントン（共同）

【エドモントン（カナダ）共同】サッカーの女子ワールドカップ（W杯）カナダ大会で2連覇を狙う日本代表「なでしこジャパン」は27日、エドモントンで行われた準々決勝でオーストラリア代表を1-0で下し、2大会連続2度目の準決勝進出を果たした。後半42分に途中出場の岩渕真奈（バイエルン・ミュンヘン）が決勝ゴールを挙げた。

日本は7月1日午後5時（日本時間2日午前8時）からエドモントンで行われる準決勝で、イングラント・カナダの勝者と対戦する。日本は前半から主導権を握り、好機を数多くつくりながらもの

後半42分岩渕が仕留める

激戦を制し、日本が4強に進んだ。「最後の最後、勝ち切りたい」という思いが一番の勝負のポイント」という佐々木則夫監督（尾花沢市出身）の言葉どおりの展開。0-0の後半42分、CKから岩渕が仕留めて決着した。主将の宮間は「1試合ずつ大きくなっていくようなチームにした」と言う。ここまでは全て1点差で5連勝。驚異的な勝負強さを見せながら、たくましさを増している。